

科目名	企画制作演習 I						年度	2025	
英語科目名	Practice of Plan and Production I						学期	前期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	105	単位数	3	種別※	実習
担当教員			教員の実務経験			実務経験の職種			
<b>【科目の目的】</b> 個人ワークから始まりグループワークへ移行していく。演劇のメソッドとして、インプロビゼーションを取り入れつつ企画・構成を考えながら進める。自己の表現と他者の表現の違いを意識しながらよりよい表現方法を模索し、セルフプロデュース能力を育成。個人での企画制作とグループ単位での企画制作の相違点を理解し、一つのコンテンツを仕上げ、自己表現のあり方を習得することを目指す。									
<b>【科目の概要】</b> 観客や視聴者を意識した芸術作品を企画し制作することを学びます。									
<b>【到達目標】</b> 自己表現の手法が多様化する現在の芸能界において、これから迎える新技術に対応していくべく、時代と共にある手法を体験しながら自分にとってどういった方法で自己表現が有効かを考え、実践できる能力を養い、セルフプロデュースを検討する。そして、それを形にするための手順や手法、技術を体得することを目指す。									
<b>【授業の注意点】</b> コミュニケーションを重視し、役割分担等、得意分野に限らず、主体的意思の元に行動し学ぶ姿勢を持つ学生を高く評価する。自らが考え、答えを導き出すことに重きを置き、積極的に参加することを求める。理由のない欠席は認めない。恒常的に出席することが基本原則である。課題として課する物の提出は必ずすること。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	独創的で実現可能な企画を立案し、詳細な企画書を作成できる。	企画の意図が明確で、具体的な計画が立てられている。	企画の意図はあるが、具体的な計画が不足している。	企画の意図が漠然としている。	企画を立てることが難しい。				
到達目標 B	企画内容に基づき、質の高い作品を期限内に完成させることができる。	企画内容に基づき、作品を完成させることができる。	企画内容と完成した作品にずれがある。	企画内容を十分に反映できていない。	企画を遂行することができない。				
到達目標 C	自分の表現したいことを効果的に伝え、強い印象を与える。	自分の表現したいことを明確に伝え、理解される。	自分の表現したいことを伝えることができる。	自分の表現したいことを伝えることが難しい。	自分の表現したいことが伝わらない。				
到達目標 D	チームをまとめ、他のメンバーと協力し、共同で作品を作り上げる。	チームメンバーと協力し、作品を作り上げる。	チームワークに課題があるが、他のメンバーとの連携ができる。	チームワークができておらず、他のメンバーに頼りがち。	チームワークができない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
<b>【教科書】</b>									

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		企画制作演習 I			年度	2025
英語表記		Practice of Plan and Production I			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己PR、グループ分け	自己理解深め、チームで目標達成	自己PR	自己理解を深める		
			グループ分け	グループを編成できる		
			グループ目標設定	グループ目標を設定し実践		
2	地域密着イベント案を考える	地域貢献イベント企画	地域調査	地域特性を理解		
			イベント企画立案	地域貢献に繋がるイベント企画を立案できる		
			企画書作成	イベント企画書を作成し、説明できる		
3	地域密着イベント案を考える	地域貢献イベント企画	地域調査	地域特性を理解		
			イベント企画立案	地域貢献に繋がるイベント企画を立案できる		
			企画書作成	イベント企画書を作成し、説明できる		
4	プレゼンテーション	企画力向上、発表力強化	構成と作成	資料を作成できる		
			実践練習	説得力のあるプレゼンテーションができる		
			スキル向上	質疑応答に的確に対応		
5	最終案決定	プレゼンで成果発表	企画内容の最終確認	完成度の高い企画書を作成できる		
			プレゼンテーション準備	企画内容を効果的に伝えられる		
			プレゼンテーション実施	企画の改善点を発見できる		
6	打ち合わせ①	企画を具体化する	企画内容の共有と議論	企画内容を具体的に落とし込む		
			課題の洗い出し	企画実行における課題を予測する		
			具体的な計画策定	具体的な実行計画を策定する		
7	打ち合わせ②	共同作業で課題解決	打ち合わせの振り返り	具体的な作業内容を決定できる		
			作業内容の決定	役割分担を決定できる		
			役割分担	計画に基づいた作業スケジュールを作成		
8	宣伝①	企画を広く知ってもらう	宣伝戦略の立案	宣伝戦略を立案できる		
			広報素材の作成	広報素材を作成できる		
			広報活動の実施	計画に基づいた広報活動を実行		
9	宣伝②	効果的な宣伝方法を学ぶ	効果測定と分析	広報活動の効果を測定する		
			訴求力向上	改善策を提案できる		
			宣伝方法の検討	宣伝方法を検討できる		
10	リハーサル①	本番に向け、実践練習	企画内容の最終確認	企画内容を最終確認できる		
			本番を想定	企画の実現可能性や課題点を見つけられる		
			改善点の洗い出し	反省点を活かし、本番に向けて準備できる		
			反省点の共有	企画内容を改善できる		

11	リハーサル②	改善し、完成度を高める	リハーサル	企画の完成度を高められる		
			最終確認と調整	最終的な準備を完了できる		
12	本番①	企画実行、実践経験	企画の実行	計画に基づき、企画を実行できる		
			本番中の状況把握	状況に応じて臨機応変に対応		
			本番後の振り返り	本番後の振り返りを、今後に活かせる		
13	本番②	チームで目標達成	企画の実行	計画に基づき、企画を実行できる		
			目標設定	企画の改善点を見つけられる		
			本番後の振り返り	本番後の振り返りを、今後に活かせる		
14	本番③	成功と課題発見	企画の最終実行	企画を実行し、目標を達成できる		
			企画への反応や意見	企画への反応や意見を収集する		
			最終振り返り	成功点や改善点などを客観的に分析できる		
15	まとめ	企画制作の振り返り	企画制作活動の振り返り	企画制作活動を通して得た経験を整理		
			成果発表と共有	企画制作を通して将来の目標達成に生かす		
			今後の展望と課題	課題を認識し、今後の成長に繋げる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						